

# ゼミナール

## 事業経営

る。その一つが、事業格予測が必要となる。将来にわたって生み出すCF(キャッシュフロー)に基づいて、事業の採算性を測るNPV(正味現在価値)である。

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実

証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

# 市場は成長「初期段階」 収支想定の高め

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭

【九州V2G実証】  
電力中央研究所は、EV(電気自動車)から電力系統へ電気を供給するV2G技術の実証事業(九州V2G実証事業)に2018年度から20年度まで参画した。20年度はV2G/VPP(仮想発電所)の事業性評価を行ったが、適切な評価を行うためには様々な課題があることが明らかになった。本稿では、家庭



井上 智弘

いのおえ・ともひろ  
2011年度入所。専門は財務分析・計量経済分析、博士(経済学)

電力中央研究所 社会経済研究所  
上席研究員